

チケット購入方法

下記のいずれかの方法で購入してください。
また、車いすでのご来場や、字幕の見えやすい席をご希望の方、入場に際し係員によるお手伝いが必要な方はお申込時に備考欄にご記入ください。

1

チケット販売サイト Peatix から購入する

クレジットカードやコンビニ決済で代金を支払うことができます。
<https://shikanogekijo2024.peatix.com/>



2

WEBフォームから申し込む

右記 URL もしくは QR コードにアクセスし、必要事項をご入力の上、料金をご入金ください。
<https://forms.gle/R8VpZ3bYi1oF1zKz7>



3

メールまたはFAXから申し込む

チラシの申込欄にご記入いただき、メールまたは FAX でお申込の上、料金をご入金ください。

振込先 上記の 2 または 3 の方法でお申し込みの場合。

銀行振込み

南都銀行 西ノ京支店 (普通) 2078235
または、ゆうちょ銀行 一〇九 (イチゼロキユウ)
店 (当座) 0007812
名義：一般財団法人たんぼの家

郵便払込み

01080-6-7812
加入者名：一般財団法人たんぼの家
*通信欄に「鹿の劇場チケット代」とお書き添えください。

アクセス

ヒューリックホール京都

京都府京都市中京区蛸薬師通河原町東入備前島町 310-2
立誠ガーデンヒューリック京都 1F



電車

阪急京都線 京都河原町駅 (木屋町北出入口)→徒歩 3分/京阪本線 祇園四条駅 (4番出口)→徒歩 5分



バス

京都市バス 四条河原町→徒歩 3分/京都バス 四条河原町→徒歩 3分/京阪バス 四条河原町→徒歩 3分/
K.LOOK 四条河原町→徒歩 3分

*専用の駐車場はございません。公共交通機関のご利用をおすすめしております。

お申込み

事務局まで必要項目を伝えるか、下記の項目に記入したうえで、このチラシをそのままFAX=0742-49-5501へ送信してください。

(よみ) お名前	ご所属 (任意)
電話 番号	連絡先 アドレス

購入チケット 一般(2,000円) _____ 枚
希望する□内にチェック✓を入れて下さい。 学生[中学生](1,000円) _____ 枚

※小学生以下のお子様や介助者と同伴される場合は人数をお知らせください。 小学生以下のお子様・介助者 _____ 名

パフォーミングアーツの広場

障害のある人がかかわるパフォーミングアーツや関連するトークの動画をあつめたウェブサイト。舞台公演のほか、日常に近い場面のワークショップなどもあります。



お問い合わせ先

障害とアートの相談室 (一般財団法人たんぼの家 内)
〒630-8044
奈良市六条西3-25-4



Tel=0742-43-7055
Fax=0742-49-5501
eメール= artsoudan@popo.or.jp
<https://artsoudan.tanpoponoye.org/>

【おことわり】 ★やむを得ない事情により、公演内容を変更させていただく場合があります。最新情報はたんぼの家のウェブサイト、facebookをご覧ください。
★ご購入いただいたチケット代は、原則としてご返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

鹿の劇場

しかのげきじょう

S H I K A
N O G E K I J O



音と言葉が めぐるたび

知らない国に旅にでると、目にするもの
耳にするもの、肌に触れる空気、すべて
が普段の生活と違っていることにとまど
うことがあります。同時にいつもとは異
なる感覚の回路がひらくようなことも。
今回は異なる場所で活動してきたア
ーティストや団体の共演による、ふたつの
演目をお届けします。活動のなかで醸成
されてきた固有の言語や文化をもつ人ど
うしが、今いる場所から旅にでてお互い
の表現にふれたときに、何かが生まれるの
でしょうか。奈良で生まれた『鹿の劇場』
を今年は、京都で開催します。ぜひご来
場ください。

日時 2024年 2月 24日 (土) 13:30 開場
14:00 開演
(終演は16:00を予定)

会場 ヒューリックホール京都 定員 120名 (全席自由)

料金 一般 2,000円 (当日 2,500円)、中学生 1,000円 (当日 1,500円)
*介助者1名まで無料、小学生以下無料 *文字字幕での情報保障を予定 *イヤーマフ貸出あり (先着3台)

出演 武内美津子 (バイリンガル女優、詩人、表現者) × 志人 (語部・声・Vocal Artist)
アゴラ太鼓 (和太鼓チーム) × シンコシ・アフリカ (アフリカンパーカッションバンド)

アフタートーク進行 小島 剛

主催：一般財団法人たんぼの家 令和5年度障害者芸術文化活動普及支援事業(厚生労働省) 協力：NPO法人DANCE BOX

武内美津子×志人

詩作からダンス、演劇など幅広く活動を行い、東京2020パラリンピック開会式への出演でも知られる武内美津子(たけのうちみつこ)さんと、独自の日本語表現を探求しながら、音楽表現・舞台芸術・古典芸能といった分野で言葉と音を中心とした芸術活動を行う志人(シビット)さんによる共演。「見えること・見えないこと／聞こえること・聞こえないこと」をテーマに、二人の出会いから生まれた詩を表現します。

武内美津子

バイリンガル女優、詩人、表現者

photo: Junpei Iwamoto



大阪府堺市在住 71歳。2004年、51歳の時、突然病に倒れ死線を彷徨い、10年以上かけて回復するも視力を失い、現在、病と視覚障害と共に生きている。2014年より舞台表現を始め、一人芝居で金賞やグランプリなど受賞多数。国内外の公演にも出演、2021年「True Colors Festival」、「東京2020パラリンピック」開会式にも出演。2022年より、ミックスエイブルのダンスカンパニー<Mi-Mi-Bi>のメンバーとしても活動中。また、文芸活動ではNHKハート展に入選など、受賞多数。絵や書も書き、その創作過程を披露、講演も精力的に行い、多岐にわたる活動を行っている。

志人

語部・聲・Vocal Artist



独自の日本語表現の探求により言葉に秘められた全く新しい可能性を示す。音楽制作のみならず、舞台芸術、古典芸能の語部やアーティストらと協働して分野を超えた活動を行う。京都国際舞台芸術祭では松本雄吉(維新派・演出)林慎一郎(極東退屈道場・脚本)『PORTAL』の舞台にて主演を担う他、「音で観るダンス」では、音により視覚情報を補助する音声ガイドを担当。藝大プロジェクト2022「藝大百鬼夜行」では、ストラヴィンスキー『兵士の物語』を川村亘平齋(影絵師)×志人(語部)×藝大生で公演。漢検・漢字博物館(漢字ミュージアム)での「企画展『カンジ・ムジカ』~春と愛と漢字に溺れる、音とアートの企画展~」では、言葉の起源を表現した空間演出を行う等、言葉と音の源流を遡上する芸術活動を行っている。

アゴラ太鼓

和太鼓チーム



知的障がいを持つ子どもたち、その家族と共に1995年に奈良で結成した和太鼓チーム。アゴラとはギリシア語で、街の中心にあり人々が集まる「広場」という意味です。結成当初は古タイヤで練習、その後少しずつ太鼓を購入し、ようやく全員で練習できるだけの太鼓が揃いました。ふだんはメンバーの実力に合わせて作曲した曲を中心に週1回練習を行い、時には三宅太鼓や秩父屋台囃子など伝統的な曲にも挑戦して地域のイベントなどで演奏しています。現在メンバーは初心者チームを合わせて18名、活動にはお母さんたちも参加しています。

ンコシ・アフリカ

アフリカンパーカッションバンド



南アフリカ共和国出身ジョゼフ・ンコシと大阪出身河辺知美によるアフリカンパーカッショングループ。手作り楽器も含めた様々なアフリカの楽器を演奏する。人と人を繋ぐ音楽の力を信じ、ジャンルを超えたミュージシャンとの共演も多数。力強いリズムは共演者のみならず、聴く人も巻き込みエネルギー溢れる空間を作る。学校公演やワークショップも積極的にを行い、楽譜のない自由なアフリカ音楽の楽しさを日本の子どもたちに伝えている。

小島 剛

一般社団法人タチヨナ代表理事、大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション 特任准教授



IT企業の研究員として勤務の傍ら、即興音楽やコンピュータ音楽の音楽家として国内外で活動。退職後、NPO大阪アーツボリアに参加し大阪築港赤レンガ倉庫を中心にアートイベントやライブを企画。2010年からNPOcobonで小学生向けキャリア教育に関わり、2015年には子ども向けアートプログラムの企画コーディネートを専門とする一般社団法人タチヨナを設立。現在まで小中学校や地域におけるアートワークショップのコーディネートをを行っている。また2016年から大阪音楽大学の非常勤講師に就任、2018年から特任准教授として、アートマネジメントの指導を行っている。

アゴラ太鼓×ンコシ・アフリカ

奈良の音楽教室「アゴラ音楽教室」から生まれた和太鼓チーム「アゴラ太鼓」と、アフリカンマリンバやジャンベなどの南アフリカの音楽を伝える、ジョゼフ・ンコシさん、河辺知美さんによるユニット「ンコシ・アフリカ」によるコラボレーション。太鼓という共通のメディアをベースに、アフリカと日本という文化とリズムの重なり合いをお届けします。

アフタートーク「出会いと創作のプレイバック」(進行:小島 剛)

子どもとアーティストの様々なコラボレーションを生み出してきた「タチヨナ」の小島 剛さんの司会で、今回のクリエイションにあたり、どのような出会いからパフォーマンスが生まれ、どのような驚きや発見、喜び、そして戸惑いがあったのか、それぞれの出演者よりお話を伺います。



photo: listude

- *それぞれのプログラムの間に休憩が入ります。
- *プログラムの順番や上演時間等は、詳細が決まり次第たんぼの家ウェブサイトにてお知らせします。
- *パフォーマンスの中で大きな音が出ます。イヤーマフ(先着3台)の貸し出しを行っています。

鹿の劇場とは…

2012年奈良県障害者芸術祭HAPPY SPOT NARAのプログラムとしてスタートした企画。国内外の障害のあるアーティストによる舞台芸術を、5年にわたり奈良で紹介してきました。その後、たんぼの家では障害者芸術文化活動普及支援事業(厚生労働省)の取り組みの中で、コロナ禍でのパフォーマンスアーツの活動、鑑賞支援を目指し、関西の障害のある人たちの舞台芸術の紹介をオンラインで実施しています。昨年からはひさしぶりに「鹿の劇場」を冠した対面の舞台を開催。2回目となる今回は、奈良を飛び出して京都で開催します。

「鹿の劇場2022」記録動画



*「鹿の劇場2022」の記録動画を販売中です!

(出演:Wa No Wa、森田かずよ、HANA PLAY トーク:熊倉敬聡、金森 香)

舞台監督:浜村修司、下野優希 / 音響:島田達也(night cruising) / 照明:魚森理恵 / 宣伝美術:鯉坂兼充 / 制作:那木萌美